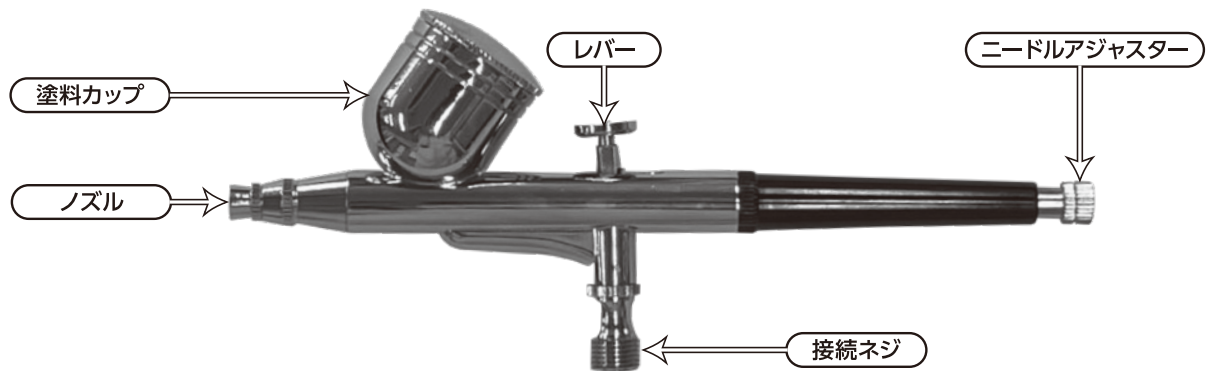


# 付属エアブラシ (PABA-03) 取扱説明書



## はじめに

ご使用前に、本取扱説明書の内容を充分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管して下さい。

## 仕様

本体サイズ	長152×幅27×高65mm
ノズルサイズ	φ0.3mm
カップ容量	7cc(取替/取外し不可)
適正圧力	0.1～0.34MPa
レバー操作	ダブルアクション式
重 量	110g
ホース接続ネジ	PT1/8ネジ

## 安全上の注意

ご使用前にすべての説明を読み、よく理解して安全にお使い下さい。

## 注 意

この表示を無視した取り扱いをすると、人的障害及び物的損害の発生に結びつく可能性があります。

- 汚れた圧縮空気の使用は、塗装のトラブルに繋がります。雨天時の湿度の高い空気、油分ゴミ等を含まない清潔で乾燥した圧縮空気を使用して下さい。
- エアーホースとの接続のためエアーカプラーを取り付ける際には、必ずシールテープを巻いて下さい。また、絞めすぎにも注意して下さい。本体及びエアーカプラー破損の原因になります。
- エアーホースを確実に固定・接続して下さい。

## 用 途

圧縮空気を利用しホビー・クラフトの塗装、イラストなどに使用できます。

## 警 告

この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり、重傷を負う可能性があります。

- ご使用前に取扱説明書をよくお読みになり、よく理解してから安全に使用して下さい。
- 本品は塗装に関する一般的な知識を有する方を前提に作られています。
- コンプレッサー以外の動力源は絶対に使用しないで下さい。
- 本品の改造はしないで下さい。
- 塗料等をスプレーする場合は、作業中に直接吸い込まないようにマスクをつけ、メガネやゴーグル等で目を保護し、換気の良い場所で行ってください。また、スプレーするものの容器に表示された注意事項をよく読んでから行って下さい。
- 必要に応じて手袋等の適切な保護具を着用し、作業して下さい。
- 可燃性の気体が生じた際には、火災・爆発のおそれがありますので作業は広い換気の良い場所で行い、火気のある場所では絶対に作業しないで下さい。
- エアーホースの取り外しを行う際は、コンプレッサーが停止した状態でエアータンクやエアーホース内の圧縮空気を抜いてから行って下さい。
- 作業場所は常に整理整頓し、作業場の障害となるようなものは置かないで下さい。
- 作業中は作業に適した服を着用し、背丈に余る衣服や装飾品は、周囲に引っ掛けたりがをするおそれがありますので着用しないで下さい。
- 本来の使用目的以外では使用しないで下さい。事故やけがの原因になります。
- 本品を使用する前には必ずネジのゆるみ、各部に異常が無いかを確認してから作業を行ってください。
- 本品は丁寧に扱って下さい。ぶつけたり、落とした場合は、必ず各部の異常の有無を確認して下さい。
- 各部の損傷や異常が確認された場合、必ずお買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。絶対に自ら分解修理や改造をしないで下さい。
- むやみにエアブラシを人に向けて下さい。圧力のかかった液体は大変危険です。
- エアー圧力は、適正使用圧力の範囲内で使用して下さい。
- 清潔で乾燥した圧縮空気を使用して下さい。

# 使い方

## エアホースの取り付け

- エアブラシの接続ネジにエアホースの接続口を回してしっかりと取り付けます。
- 取り外すときは、逆の要領で行って下さい。

## エアブラシの持ち方

- 細かなコントロールが必要な作業を行う場合、鉛筆を持つように握るのが標準的です。
- ※ 特に決まった持ち方があるわけではありませんので、作業しやすいように持って下さい。



## 塗 料

- 塗料カップのフタを開け、カップ内に塗料を入れます。カップの2/3以上は入れないで下さい。
- 一般的には牛乳くらいの粘度がエアブラシに適していますが、塗料によってはそこまで粘度を落とすと定着不良になるものもありますので、必ず試し吹きにより異常がないことを確認して下さい。
- 塗料を入れたら塗料の乾燥防止、こぼれ防止のためフタを閉めて下さい。
- エアブラシ塗装を想定された塗料のご使用を推奨します。

## 使用圧力

- エアブラシ本体では、圧縮空気の圧力調整はできません。レギュレーターやコンプレッサーにて圧力調整を行って下さい。
- 塗料によって適正な圧力の設定は変わりますので、必ず試し吹きにより確認して下さい。

## 使用方法

- 購入後初めてご使用になる際には、塗料通路内部の防錆油等を取り除くため、洗浄液（使用する塗料のうすめ液）を吹き、内部の洗浄を行って下さい。
- 本製品はダブルアクション式です。
- レバーを下に押すとエアだけ出ます。さらにレバーを押したまま手前に引くと塗料が出ます。このレバーを手前に引く度合いによって塗料の噴出量が決まり、引いた分だけ塗料の量は増えます。
- 噴霧を止める際には、先にレバーの引きを緩めて塗料の噴霧を止めてから、指を離してエアを止めることで、塗料が垂れることを防ぐことができます。
- 細い線や小さな面に吹き付ける場合は、エアブラシを吹き付け面に近づけて塗料の量を少なくして下さい。太い線や大きな面に吹き付ける場合は、エアブラシを吹き付け面から離して塗料の量を多くして下さい。
- ※ 過度に近づけた状態や離し過ぎた状態ではうまく吹き付けできません。吹き付けはうまく塗り、乾かす作業を繰り返して下さい。厚塗りすると塗料が垂れたり、塗膜内部が乾かない状態になります。



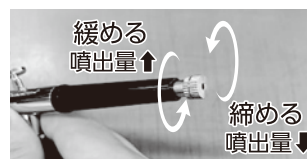
レバー押し込み(エアのみ)



レバー引き(塗料噴霧)

## 塗料の出方(ニードルアジャスター)調整

塗料を一定の量で吹き付けたい場合や、同じ線幅を維持して吹き付けたい場合はニードルアジャスターで噴出量を調節します。ニードルアジャスターを回してお好みで調整して下さい。ニードルアジャスターを締めるとレバーの引ける幅は小さくなり、噴出量は少なくなります。緩めるとレバーが引ける幅が大きくなり、噴出量が多くなります。



緩める  
噴出量↑

締める  
噴出量↓

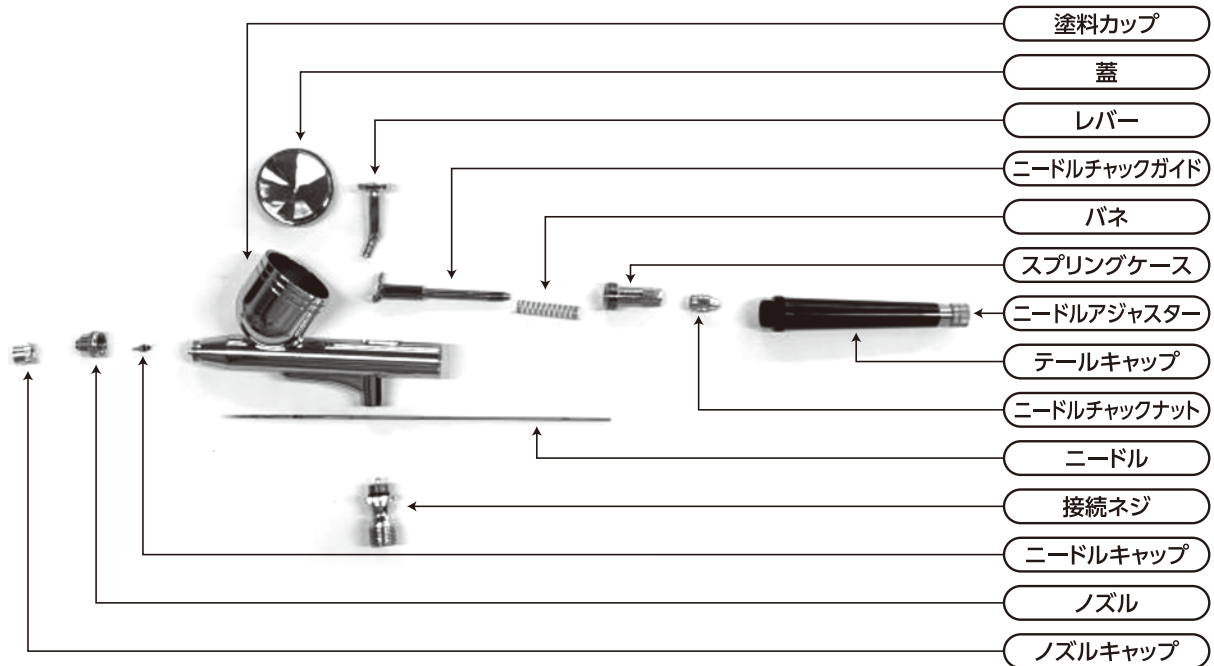
## 吹き付け中の不具合

エアブラシを使用中、塗料の濃度または長時間の吹き付け作業の影響で噴霧に変化が出てくる場合があります。綺麗な霧状ではなく、水玉のように塗料が飛ぶ場合や塗料の出方が悪いときは、塗料がニードルの先端(ノズル側)やノズルキャップの周りに付着して正常な吹き付けの妨げになっていることがあります。その場合、いったん作業を中止し洗浄して下さい。

## 作業後のメンテナンス

- 作業後はできるだけ早く洗浄して下さい。塗料が乾燥した場合、溶剤でも溶けなくなることがあります。
- エアブラシはデリケートな精密機器です。常に良い状態を保つためには日頃のメンテナンスが重要になります。使用ごとに十分な洗浄を行って下さい。特に塗料と接した部品(ノズル・ニードル・塗料カップなど)は使用後できるだけ早く洗浄して下さい。時間が経つと塗料が詰まったり、固まったりして吹き付けに悪影響を及ぼします。
- 使用中に中断する場合や、色を変える場合にも、塗料カップに残った塗料は別の容器に移すか捨てるなどしてからすぐに洗浄して下さい。塗料が乾燥しないように注意して下さい。

## エアブラシ構造／洗浄メンテナンス手順



- 1 塗料カップ内の塗料を全て出し切り、内部に塗料が残らないよう吹き出して下さい。
- 2 塗料カップに洗浄液(使用した塗料のうすめ液)を入れて筆や綿棒などでこすりながら洗浄して下さい。
- 3 洗浄液を入れた状態で、先端(ニードルキャップ)にティッシュペーパーやキッチンペーパーなどを当て空気が逃げないように塞いでから吹いて下さい。洗浄液が逆流し塗料カップの中がブクブクと泡を立ててノズル内の汚れを取ります。(うがい洗浄)  
※塗料カップ内に多くの洗浄液を入れて行わないで下さい。周りに飛散します。
- 4 洗浄液を全て吹き捨てて、内部に洗浄液が残っていないことを確認して下さい。
- 5 ニードルキャップとノズルキャップを外して筆などで洗浄して下さい。

以降の洗浄操作はニードル部の洗浄になります。非常に細くデリケートな部品であり、特に先端部が曲がると大きく塗装性を損ねます。また、先端が尖った構造になっており、けがのおそれがあります。十分に気を付けて操作を行って下さい。通常は上記までの洗浄メンテナンスで充分きれいにお使い頂けます。必要な場合のみ行って下さい。過度な掃除は部品を傷つけ、故障に繋がります。

- 6 エアブラシをエアースホースから外し、本体を分解して洗浄していきます。テールキャップを取り外してニードルチャックナットを緩めてニードルをゆっくり引き抜きます。
- 7 ニードルの汚れを柔らかい布などで拭き取って下さい。
- 8 ニードルを先端が傷つかないように注意しながら本体にセットして下さい。ニードルがノズルから出ることを確認しながらゆっくり差し込んで下さい。ノズルに当たったところで止めて、ニードルチャックナットをしっかり締めてテールキャップを取り付けて下さい。
- 9 レバーを動かしニードルが連動していることを確認して下さい。※連動しない場合は、レバーとレバー金具の穴にニードルが通っているか確認して下さい。
- 10 確認できましたら、ノズルキャップ・ニードルキャップをしっかり締めて完了です。

## トラブルシューティング

不具合、症状	原因	処置・説明
① エアーが塗料カップに逆流する	ノズルキャップの取り付けに緩みがある。	ノズルキャップを締めます。
② 塗料が出てこない	ニードルアジャスターが最後まで締め込まれている。	適正な塗料の噴出量になるまで、緩めて下さい。
	ニードルチャックナットが緩んでいる。	ニードルを先端まで前進させてからニードルチャックナットを締めます。
③ レバーが動かない	ニードルがエアブラシ内部に残った塗料によって固定されてしまっている。	前項洗浄メンテナンス手順に従って洗浄を行ってください。
④ レバー押し込みが戻らない/ 動きが悪い	スプリングケースを締め過ぎている。	スプリングケースを緩め、軽く回転が止まるところまで締め直す。
⑤ 塗料がスポット状に飛び散る	吹き付け操作中に、ニードルキャップの内側に少しずつ塗料が溜まってしまい、その塗料が吹き飛ばされてスポット状になっている。	ニードルキャップ内に溜まった塗料を、うすめ液・洗浄液を付けた筆などでニードルが曲がらないように優しく除去する。
	ニードルが正常位置より後ろで固定されている。それによりノズルとニードルの間にすき間が生じ、塗料がこぼれている。	ニードルを先端まで前進させてからニードルチャックナットを締めます。
	ニードルの先端が曲がっている。	新しいニードルと交換が必要です。

## サービス網一覧表

〈PABA-03〉をはじめ、アサヒペンへのご相談、お問い合わせは下記の所へお気軽に。

**株式会社 アサヒペン**

大阪本社 〒538-8666  
東京本社 〒135-0003

大阪市鶴見区鶴見4-1-12 電話06-6930-5001(代)  
東京都江東区猿江2-3-16 電話03-3846-6111(代)

札幌営業所 〒003-0030 札幌市白石区流通センター4-2-5 電話 011-863-3288

大阪営業所 〒538-8666 大阪市鶴見区鶴見4-1-12 電話 06-6930-5008

仙台営業所 〒981-3112 宮城県仙台市泉区八乙女4-6-6 電話 022-218-5880

広島営業所 〒735-0021 広島県安芸郡府中町大須4-1-58 電話 082-282-0965

北関東営業所 〒367-0206 埼玉県本庄市堤玉町共栄800番地2 電話 0495-73-3008

九州営業所 〒813-0011 福岡県福岡市東区香椎1-22-5-201 電話 092-661-3310

東京第一営業所 〒135-0003 東京都江東区猿江2-3-16 電話 03-3846-6112

お問い合わせ先 お客様相談室 ☎06-6934-0300

受付は土曜・日曜・祝日・年末年始・夏期休暇期間を除く午前9時～午後5時まで

ホームページアドレス

<https://www.asahipen.jp>